

大会発言



鹿児島 黒木代議員

今年公共交通再編関連法案が成立し秋から施行される。「再構築協議会」が開催されれば、3年間で方向性を出し事業者・自治体は正当な理由がなければ協議を拒めないとなつている。一方、法案成立時に付帯決議は付いたが、協議に入れば別の輸送手段の議論に進む可能性は大きい。付帯決議はこの間守られたケースが少ない。しかし、どう活用するかも運動の一つであることは踏まえておく必要がある。地域公共交通を守るには、廃線でも何もしない絶対ダメであるが、残るなら何でもいいのか。BRTの問題点、全国の実施された線区の問題点、法案の問題点を、地域や地方自治体と呼び掛ける運動の具体的展開とそれに伴う資料等を早急に明らかにして頂きたい。新人事・賃金制度について、地域限定社員で、宮崎の方が博多を希望することが

出来るのか。また退職金について、今回のベア分を減額するのか理解できない。仕事給のアップは基本給のアップと同じである。評価の内容を伝えるとなつているが、評価が明確でなければ納得できない。今後も追及をお願いする。



長崎 島田代議員

今年の「第51回長崎原爆死者慰霊式展」は台風の接近により延期し20日に規模を縮小して開催した。今後も皆さんの力を借り継続していきたい。武雄温泉駅では、要員が足りず、毎週警察への遺失物届や、管理駅の締め切りに日勤者を立てられず非番で対応している。どこの職場でも同様で出向や退職等で要員がひっ迫している。乗務員は統合され長崎乗務センターとなった。通勤距離が伸びた関係や前泊前提の行路のため3泊4泊を余儀なくされている。要員も不足しているため、年休が取得できず多くの人が年休を流している。これ以上の要員削減は安全サービスの低下となる。支社交渉でも取

り上げているが改善できない。組織運営も大変厳しい状況となつている。規約も含め組織の在り方について考え方を聞かせて欲しい。



博多 今宮代議員

久留米運輸センターは若い世代が転入して来ないので嘱託社員が多い職場となつている。嘱託の特休が増えたが、要員が増えてないため年休が取れない。要員需給が正しくされているのか疑問だ。また若い運転士も離職している。賃金を上げることが大事だ。収入も上がつているのでコロナを理由にさせない運動が必要である。久大線は、雑草が伸びて滑走など頻繁に起きて危険な状況だ。除草作業について九州本部でも取り上げて欲しい。この夏冷房が効かない車両のため、運転士が熱中症になりかねない状態で運転をしている。会社に対し改善に向けた交渉お願いしたい。またマニアによる乗務員の撮影が頻繁にあり、切り取りでネットに流している。乗務員を撮影できないガラスの導入など出来ないか。



北九州 島山代議員

8月28日に開通した日田彦山線BRTは、初日、当初想定されたより利用者は大幅に少なかった。JRと接続を取らないとか、運転士の取り扱いが煩雑となつているなど問題も多い。このBRTは今後のローカル線の在り方に大きくかわつてくる問題でもある。利用の状況や問題点などしっかりと調査し対策を行つて欲しい。岸田政権は専守防衛を投げ捨て戦争する国として暴走している。原発の汚染水放出など国民の理解も無しに強行している。平和憲法を守るためにも九州本部が先頭になつて運動を提起して欲しい。この間2名の組織拡大を行なつてきた。諦めずに運動を続ければ活路は見出さると思う。若い世代を孤立させないためにも全体で拡大していく必要がある。



博多 岩田代議員

鹿児島線での303・305・821系の自動放送の不具合が多い。筑肥線ではホームドアがあり停止位置を1m行き過ぎると通過させ次の駅での対応となる。ホームドアの不具合も多発している。福北ゆたか線ではモニター故障が多く、指摘しても改善されない。香椎線では7割程度自動運転が導入されているが、1月に場内信号機が停止なのに減速感がなく乗務員が非常停止ボタンで停止するという事象が発生した。安全問題では引き続き追及をお願いする。要員問題では、再雇用者の特休が増えたのはいいが要員を増やしていないのと若年退職が増えて年休が消化できない。また今後短日数を選択する人が増えた場合は、さらに要員不足になるのではないかと。引き続き交渉の強化をお願いしたい。



北九州 糸山代議員

昨年9月のダイヤ改正により6両ワンマンが導入され、危惧されたモニター故障が続発していた。特にツーハンドル車に多くの不具合が発生